

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
奥多摩工業株式会社
- (2) 事業所の所在地
広島県福山市鋼管町1
- (3) 業種
1622 無機顔料製造業
- (4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画期間は、平成26(2014)年度を基準年度とし平成30(2018)年度から令和4(2022)年度までの5年間とする

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方
当社は環境に配慮した事業活動に努め地球温暖化について消費者のことも考慮しつつ温室効果ガスの排出抑制に努めます
- 2
 - 1) 工場の省エネルギーの推進
 - 2) 電力使用量の削減
 - 3) 廃棄物の抑制、リサイクルの推進
 - 4) 社員への環境教育

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成26年度	直近年度 平成30年度
二酸化炭素	5,500	5,382

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成26年度	直近年度 平成30年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		

その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		
---	--	--

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量 (千 t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和4年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	5,500	62.92	87.4	5.0	5,779	69.62	83.0

非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)			39.7	5.0			37.7
目標設定の考え方	生産効率の見直しと適正化により原単位削減に取り組む						

※ 削減率(d) = $\{(c) - (g)\} / (c) \times 100$ 原単位(c) = (a)/(b) 原単位見込(g) = (e)/(f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー使用量の削減	エネルギー原単位1%削減	生産設備の効率的な運用 エアコンプレッサーの運転負荷低減 高効率モーターへの更新
2			
3			
4			

※原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

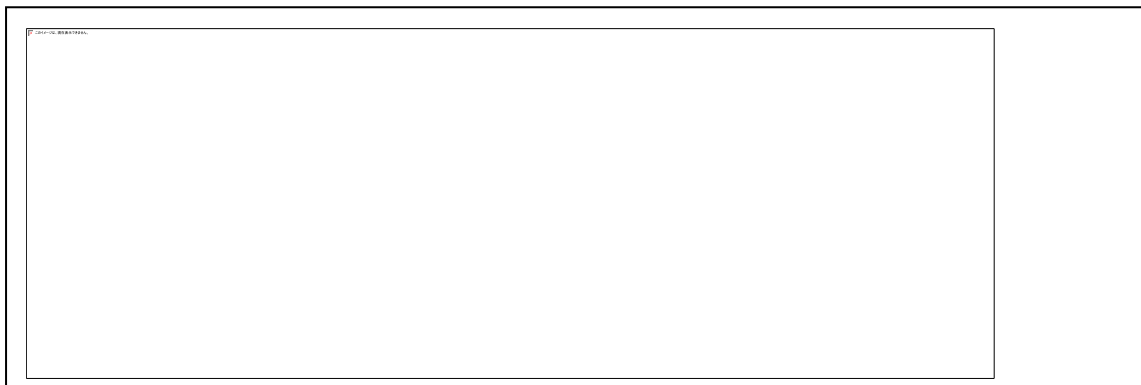
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

1回/月開催される品質・環境会議にて実施状況の結果と評価を行う

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧する